

参考図 1

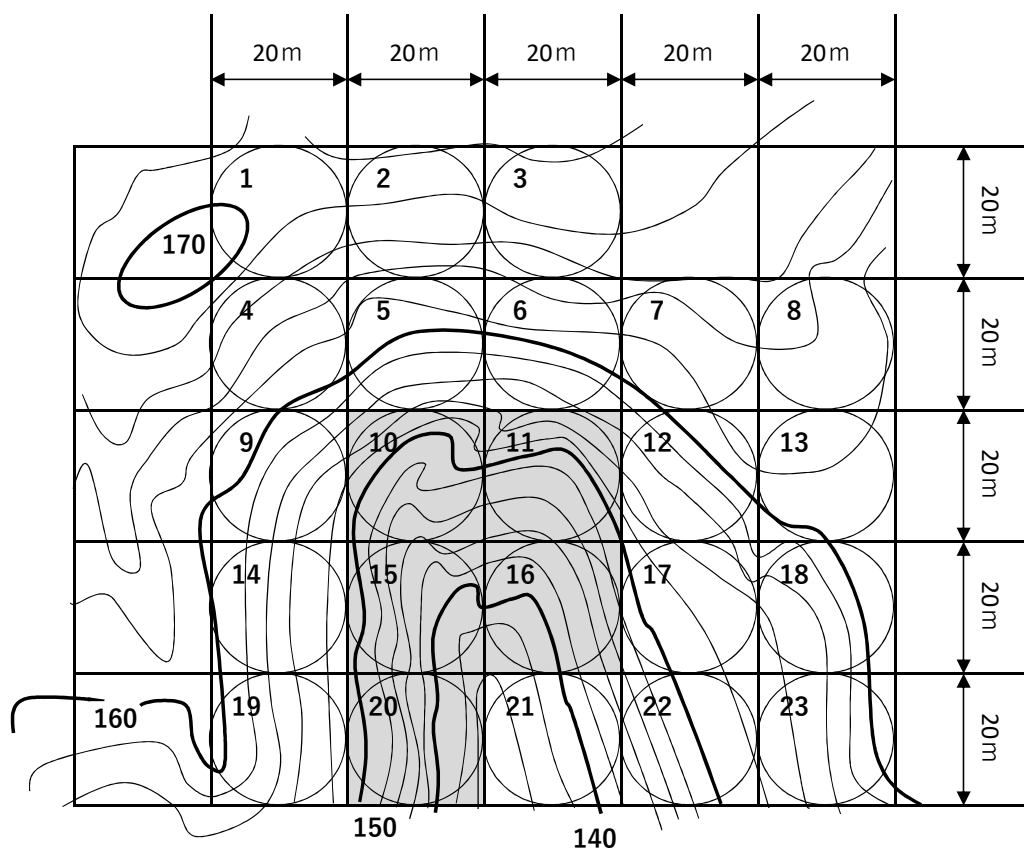
傾斜区分図の作成方法

傾斜度による算定方法

1,000分の1程度の地形図を使用し、太陽光パネルの設置区域について、次により調査を行い算定すること。

1. 任意に20m間隔のメッシュを図示し、そのメッシュに内接する半径10mの円（中心は対角線の交点）を図示すること。
2. 円の中に含まれる等高線の数を数え、次表に該当するメッシュ内の設置区域の30°以上、未満を区分けすること。
なお、数を数える場合、一度入った等高線が再度円内に入っても2本とはせず1本と数えること。
 また、円に接する等高線は0.5本と数えること。
3. 斜面傾斜が30°以上のメッシュについて、着色すること。

(例)



傾斜計測参考値

等高線の高低差	内接円に含まれる等高線の数
1 m	12本以上 (30° 以上)
2 m	6本以上 (30° 以上)